

きごガ みしラ へのス

To You Over The Glass
-spin off-



きごガ みしラ へのス

To You Over The Glass
-spin off-

18



麦茶房

きごガ みしら へのス

To You Over The Glass
-spin off-





ガラス越しのきみへ

To You Over The Glass
-spin off-

「ガラスごしのきみへ」のこれまで



同性に好意を抱く青年・赤尾大志は、入学初日に好みドンピシャの相河 高浩に出会い、エロい妄想で頭をいっぱいにしていた。



二人は一緒に学校生活を送り、次第に絆を深めていく中で、大志の気持ちは安直な性的欲求から恋愛感情へと変わっていく。



そんな中、体育祭で高浩が同級生にからかわれているところに大志が出くわし、波風を立ててしまう。そのことがきっかけで高浩は心を閉ざしてしまった。

誰の言葉にも耳を傾けようとしない高浩に手を差し伸べたのが、大志の中学以来の友達である牧竜樹だった。彼の献身的な行動と飾り気の無い言葉で、高浩は再び友達に、そして大志に心を開くことができた。



その冬、大志と高浩は結ばれ、竜樹や友達も二人の関係を祝福した。その後大志は、恋が自分にもたらしてくれたものに気づいたのだった。



赤尾 大志

妄想逞しいムツリの攻め。高浩になかなか手を出せないため、未だ童貞。



相河 高浩

可愛い系の受け。厄介なトラウマ持ちだったが、友達の助力もあって解消できた。

×
付き合いだて



牧 竜樹

本スピンオフのメインキャラ。大型犬系男子で楽しいことが大好き。クラスのムードメーカー。

↑
いいやつ
(絶対言わない)
↓
中学時代の
バスケ仲間

思人

↑
可愛い子ちゃん
大志との恋を応援
↓

!CHECK!!



2015年の春からPixivにて発表された創作BL漫画。全13話。全編にわたる加筆修正と描き下ろしを加えて2016年初冬に一迅社ガトーコミックスより単行本化。

まき
牧って
身体はでかいけど
子供やんな

えっ？

まあ
ムードメーカー
って大抵
こんな感じか

そんなもん
なんかなあ...

ほゝえ

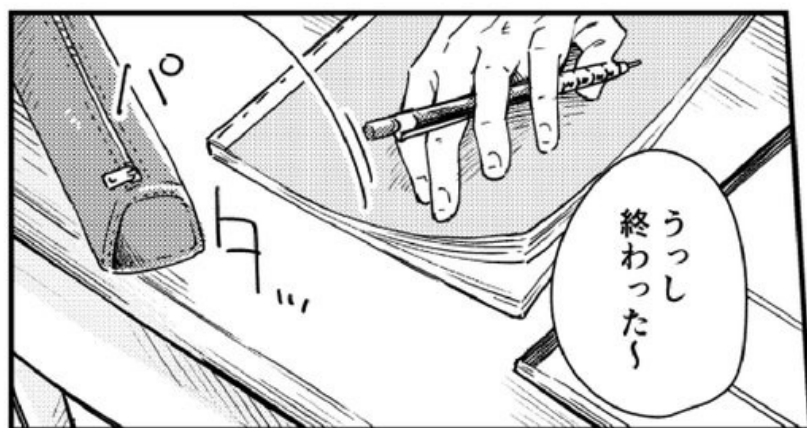
...

そーかね

同じクラスに
なったばっか
やけど

牧って
わかりやすいわ

元気で声でかくて
能天気で
太陽みたいっつか



今日も部活かー
毎日頑張るよな

お何
興味ある？
覗いてく？

ガラッ

ゴメンゴメン
寂しかった?
バスケ部来る?
入る?

うおお!!

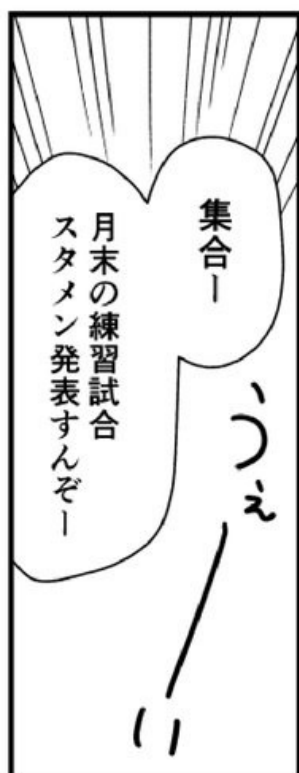
ナニさっ

この身長差で
勧誘なんかすんな!
塾やっつったろ!

ええから早よ
部活行けや!
頑張り時なんやろ!

へーへー
また明日な

や







よー
奇遇やな

おー君塚!
塾帰りか



テハ

テハ



あれっ
牧?

あ
ん



お何それ
美味そーなもん
食ってんな

あコレ?
肉じゃがコロッケ
ええやろ



あっはっはっは!!
めっちゃ聞こえた!
腹の虫が...

う...うっさいな
さっきまで
塾やってん!
そんな笑うなや!!

じゃーなー!!

声がでけえ

また明日ー





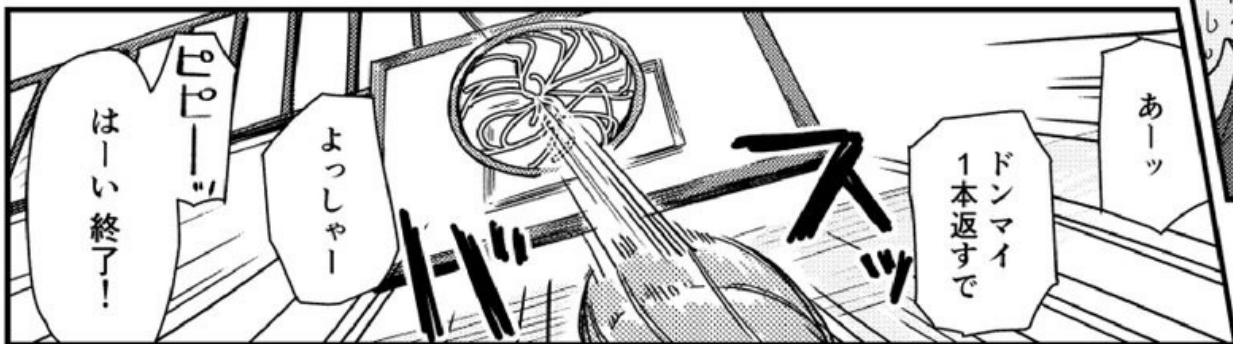


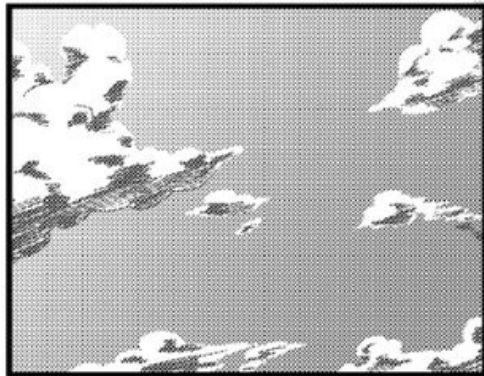
















牧?



え...ちよ
牧ッ

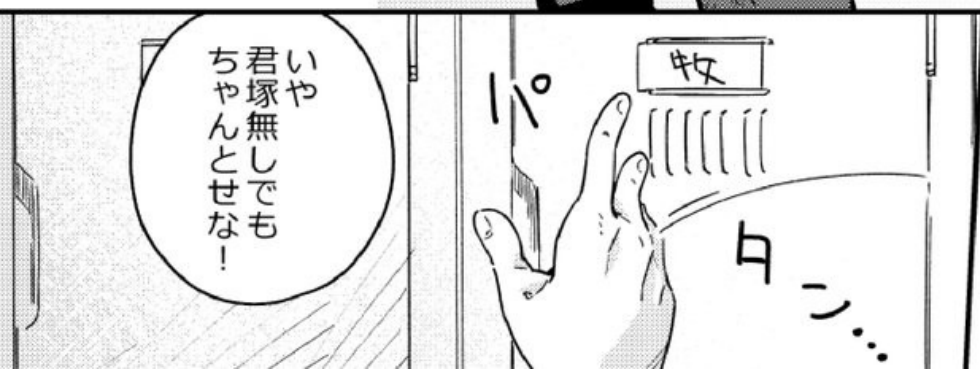






昨晚 出なくなるまでしてた











やばいー!



やってる!?

いーや



やってへん!?

俺も今
やってる



朝練出でて
長文和訳の宿題
忘れてたー!!

誰か見してー!!
助けてー!!



ぬああ
もうアカン

ほいっ

すん

ぽ







でも…おっ…

俺…君塚が
おらんと寂しい

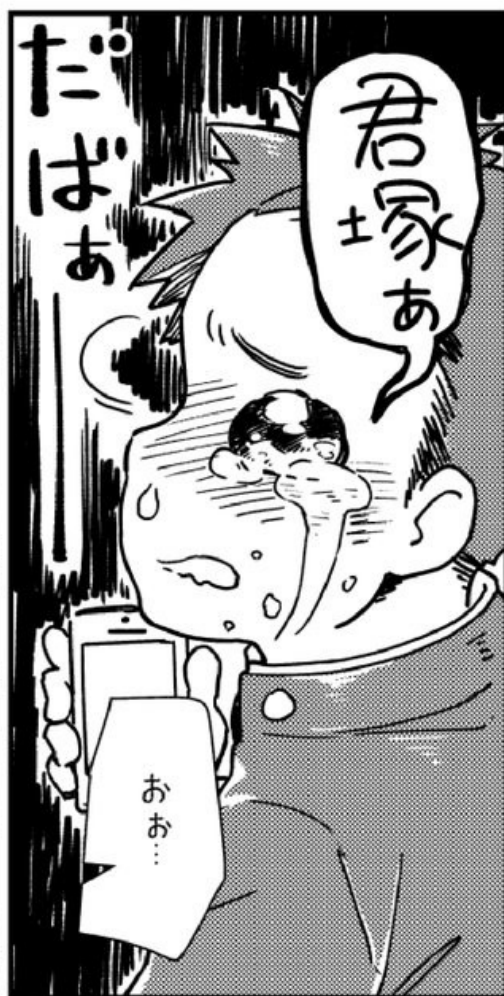
君塚でエロいこと
考えんのが嫌でも
好きでおんのが
辛くっても…

大好きになった
友達を
無くしたくない

だから――

よく
言えました

ぽん
ぽん



お俺…

君塚のことが
好き…好きですっ

俺人にチュー
したいって思ったん
初めてで

でもいつの間にか
失恋してた傷を
君塚で埋めてた
ぼくて

そんな本当に
好きやって
言えんのかって
悩んで…そんで

ええーつと…

なんかまた
わからんよう
なってきた…

恋愛以前に
頭使うのが
下手やな…

まあそーが
可愛いんやけど









かあ

れ…恋愛初心者に
それは難解やろ…？

ナサガに

牧はまだまだ
子供やな

あはは



まさか男子と
恋人同士に
なるとは…

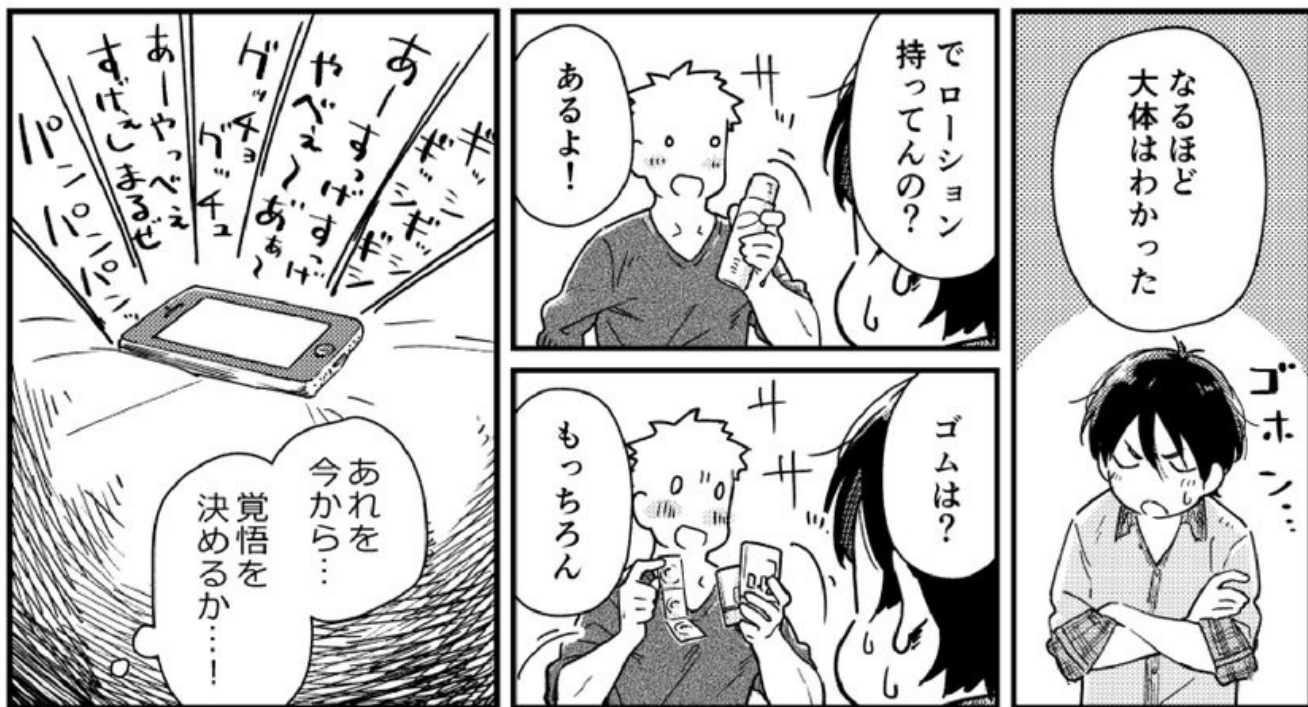
男子校あるある
なんか…?

エへ
ハハハ…

ドキ

ドキ

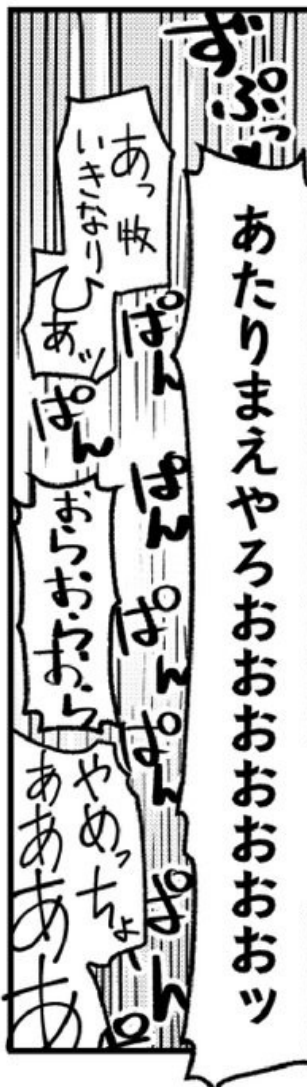
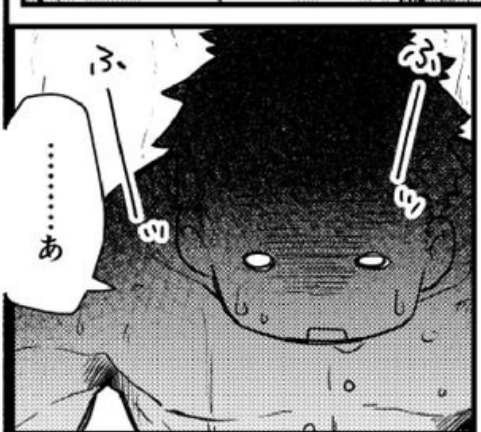
















- あとがき -

純粋さと恋心を同時に持ち合わせるのは難しいことだと思う。

人を好きになれば自分だけを見ていてほしいと欲が沸き、誰かに取られれば後悔や嫉妬に溺れ、そして抱きたい、抱かれないという性的な衝動にも駆られる。その全てが「純粋ではない」と断ずるわけではないが、少なくとも私には、純粋な心の動きによってこれらの欲求や行動が生まれるとは思えない。

純粋さとは何だろう。作中に登場する牧竜樹という青年は、極めて純粋なキャラクターだった。大好きな友達と一緒に食べて、遊んで、スポーツをして、楽しいことを共有したいという気持ちにブレーキをかけない。それは彼が純粋にそう思っているからであり、その純粋さに周囲の人間は魅かれるのかもしれない。

しかし見様によっては、牧はとても矛盾したキャラクターだとも言える。彼は相河高浩という少年をいたく気に入り、構い倒し、過剰なほどスキンシップし、内面にも躊躇なく踏み込んだ。本当に好きでないと出来ないほどのことを、牧はやったのけた。しかしそこに特別な感情など無かった。

とても気持ち悪い。恐ろしくすらある。彼の行動は美しすぎるのだ。

彼が恋をする話を書こうと思って初めて、このテーマが非常にハードルの高いものだと気づいた。非常に難しかったし、上手くいったかどうか自信も無いが、いかがだったろうか。

人は恋を知って大人になるというフレーズは、手垢だらけで他人事のようなだが、純粋無垢な青年が大人になっていく過程というのは簡単ではない。恋を知り、自分の心にひどく翻弄され、傷つき、自分に嘘をついて本心を隠すことを覚え、諦め、折り合いをつけ、また次の恋をする。

恋愛に限らず、自分の心に傷を負い、直してきた分だけ人は大人になれるのかもしれない。

牧はこれからどんな大人になっていくのだろう。いつか覗き見れるといいなと思う。

2017年11月12日 黒豆麦茶

- おくづけ -

「ガラスごしのきみへ スピンオフ」

2017年12月30日 初版発行

2018年4月14日 第2刷発行

発行者・著者	黒豆麦茶
発行	麦茶房
印刷	丸正インキ有限会社さま

- スタッフ -

黒豆麦茶（著者）

Eins（デザイン）

 @kuromugi_bler

 @eins_avr

 3579161

 <http://alphaversion.tv>

 <http://kuromugi-bler.blog.jp>

 contact@eins.blue

 mugicha.lover@gmail.com

スペシャルサンクス キリムさん

 @unplugged_line

 9139643

- 本書はウェブ上にて公開した作品に加筆修正し、描き下ろしを加えたものです。
- 転載・転売は固く禁じます。
- 高校生を含む18歳未満の方の目に触れないよう、充分ご配慮ください。